

富士宮市 高校会議所が新体制 会頭は高野さんと望月さん



認証状を手にするメンバーと須藤市長ら(提供写真)

富士宮高校会議所は、このほど、第11回定期総会を西町レトロ館で

開催した。須藤秀忠市長による会員認証式で、令和8年度の新体制を

スタートさせた。第11代会頭に高野唯花さん(富士宮東高2年)と望月優希さん(同)の2人が就き、事業計画などを決めた。

会頭就任のあいさつでは、高野さんが「富士宮高校会議所での貴重な体験、かけがえない人や友人との出会いにより、高校生活がとても充実している」、望月さんが「活動は全て刺激的で、自分の力をアップさせている」とこれまでの歩みを振り返り、「メンバーの皆さんと共に、さらなる地域活性化を目指す」と口をそろえた。来賓では、須藤市長

と支援する地元の松山区健寿会の中村伸介会長が、新体制のスタートを祝うとともに、高校生の視点を生かした活動の進展を願った。事業計画では、SDG実践を柱とする「マスマス元肥を使って富士宮をマスマス元気に！」「ベビーカー・チャ

イルドシートの2R、持続可能な社会づくりを！」「アート(絵画・音楽・笑い)で地域を元気に！」の柱とする三つのプロジェクトを継続し、各種事業の定着を図る。地域活性化イベントについてはSDGs、フォト・PV、絵画、

駄じゃれ、大喜利、川柳などの各種コンテストをはじめ、音楽・絵画・笑いを各地に届ける活動を展開し、「これまでの地道な活動に加えて、高校生の視点による新たな取り組みを積極的に進めることで、持続可能な社会づくりを目指す」とした。